

令和7年度第1回那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会総会（要旨）

■日 時 令和7年7月8日（火） 午後2時00分から午後3時00分まで

■出席者 出席者：会員14名（代理含む）、事務局14名
欠席者：会員5名

■1. 開会

■2. あいさつ

渡辺会長（那須塩原市長）、相馬大田原市長、平山那須町長、森島矢板市長からあいさつがあった。相馬市長より、NHK朝の連続テレビ小説「風薫る」が那須野が原の魅力を発信する絶好の機会である旨の発言があった。平山町長からは、那須町での山田顕義のトピック展開催や、官民連携プラットフォームでのPR活動について報告があった。森島市長からは、矢板市の山縣有朋記念館が築100年を迎える縁で、小田原市との広域連携を検討している旨の発言があった。渡辺会長より、文化庁から収益性向上や民間企業との連携強化の通達があったことを踏まえ、活発な議論を求める旨の発言があった。

3. 協議事項

（1）役員の選出について

事務局より、規約に基づき、会長には渡辺市長、副会長には相馬市長、森島市長、平山町長を再任し、監事については那須町観光協会及び矢板市観光協会の会長にお願いしたい旨の説明を行った。

⇒ 承認

（2）令和6年度の事業報告及び収支決算について

資料に基づき事務局から説明。

事業報告として、デジタルスタンプラリー、パンフレット増刷、演劇制作、フォト＆カードラリー、御朱印事業の実施内容と決算額を報告した。

収支決算について、収入済額9,360,259円、支出済額7,616,284円、差引1,743,975円は令和7年度への繰越金となることを報告した。

併せて、会計が適正に処理されていた旨の監査報告も行った。

【質疑】

質疑なし。

⇒ 承認

（3）令和7年度の事業計画（案）及び収支予算（案）について

資料に基づき事務局から説明。

事業計画（案）として、周遊バスツアー（予算額220万円）、演劇制作・講演（予算額250万円）、ノベルティ制作（予算額170万円）などを説明した。

【質疑】

相馬市長：バスツアーについて、実施回数、募集対象、予算の内訳（宿泊費、広告宣伝費）、参加費はどのようになるか。

事務局：3回程度の実施を検討している。広く募集したいと考えている。日帰りのほか宿泊を伴うツアーも検討しており、宿泊費や広告宣伝費に充当する。参加費は事業費との兼ね合いで今後検討する。ガイドは、協議会に登録されている方を活用したい。

木村委員：演劇について、今後の展開（他市町での公演）、上演時間、学校教育での活用方法、権利関係はどうなるか。

事務局：初回公演は那須塩原市で行うが、今後は各市町での公演やDVD化も考えている。上演時間は90分の予定。学校で活用できるようDVD作成を検討している。権利はすべて協議会が持つ契約となっており、今後の活用については令和8年度以降に検討する。

⇒ 承認

（4）令和8年度以降の事業について

資料に基づき事務局から説明。

各市町から提出された13件の提案の中から、特に多言語対応パンフレットの作成、ガチャガチャグッズの作成、バスツアーの継続などを検討している旨の説明。

【質疑・提案】

木村委員：収益を出す取り組みとして、那須野が原の歴史をテーマに、学術的な講演と現地見学会を組み合わせた「那須野学サミット」の開催を提案したい。

大倉委員：多言語パンフレットについて、対応言語やQRコードの活用も検討しているか。

事務局：今後検討していく。

⇒ 承認

4. その他

日本遺産事業に係る民間企業の参入について

事務局より、文化庁からの収益性向上や民間連携の要請を踏まえ、地域プロデュースに実績のある株式会社八芳園との連携を提案した。

相馬市長：八芳園が手掛けた文化資産活用の具体的な実績を教えてほしい。

森島市長：八芳園は「食」に強みを持っており、広域でのメニュー開発などポテンシャルは高いと感じる。この連携には非常に可能性を感じる。

ホームページの活用について

大倉委員：日本遺産のホームページの活用が不十分ではないか。朝ドラなどの関連情報も発信し、もっとPRに活用してほしい。

事務局：これまであまり活用できていなかったため、今後はイベント情報などを活発に発信していきたい。QRコードの活用なども含め、改善していく。

令和7年度第2回総会について（事務局連絡）

日時：令和8年1月30日（金） 午後2時から
場所：那須町文化センター小ホール

5. 閉会